

一般社団法人東京都ホッケー協会総会議事録

日 時： 2021年6月20日（日）10時00分～11時30分

場 所： 菅野芳哉（総務委員会総会事務局）宅

議決権のある当法人の社員（正会員）総数：66名

社員の議決権の総数：66個

出席社員数：55名（書面による議決権行使者、委任状による者を含む）

この議決権の総数：55個

出席理事：和田明仁（代表理事）市川明、一川邦彦、右川誠治、小川仁志、
河原茂光、菅野芳哉、近藤聡史、栗原崇、坂本有里、正田実、
多氣洋平、西澤英一郎、平田麻佑子

出席監事：小池文彦

議事：

定時総会はコロナ感染症リスクを回避するため、小さなリアル総会とそれをWEBで中継するいわゆるバーチャル総会として、志木クラブ（菅野芳哉氏）を仮議長として定刻どおり開会した。

定足数確認、議長選任、議事録署名人選出

仮議長は定款第17条に基づき議長選任を議場に諮ったところ、委任状を含め全員異議無く、仮議長の志木クラブ（菅野芳哉氏）を引き続き議長に選任した。

議長は本総会が定款第18条の定足数を満たしており、適法に成立した旨を宣言し、直ちに議事に入った。

議長は定款第22条に従い議事録署名人に一橋クラブマスターズ（小川仁志氏）、慶應義塾大学男子（中島康仁氏）を指名し、意義なく承認された。

ここで議長は和田会長に開会のあいさつを求めた。

会長挨拶（和田明仁氏）

お早うございます。東京都ホッケー協会会長の和田です。

新型コロナウイルスの影響で再度緊急事態宣言がなされ、今年も昨年同様WEBでの総会とさせていただくことになりました。御不自由をお掛けしますが皆様のご協力を頂き、有意義な総会にしたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

昨年度の総会を振り返ると、「東京2020」大会のために新設・改修された大井ホッケー場を文字通りホッケー場として存続させ、東京でのホッケーの発展を図るため、「3C+1」構想を提案するとともに、その実現に向けて組織再編を行いました。

まず組織ですが、これまでの委員会制から「3C」に対応する「大会運営」「普及推進」「国体強化」の3事業部会を設け、これを支える「+1」に対応したマーケティング、競技基盤、総務の3委員会、及びコンプライアンスに再編いたしました。

「3C+1」ですが、大井ホッケー場を拠点として、(これが「+1」です。)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 大会 (Competition) | 主管協会として、大会開催の成功 |
| 2 チーム (Club) | 応援される「東京代表」チームの育成 |
| 3 地域 (Citizen) | ホッケー理解者を永続的に増やす運動 |

を目指しています。

残念ながら昨年度はコロナ禍により、「3C+1」に向けて思うような活動は出来ませんでした。同時に構想実現のための課題も見えてきたところです。今総会は WEB 会議という制約もあり、顔を合わせての十分な討議もできませんので、改めてオリンピック後に皆様よりご意見・ご提案を頂戴する機会を持ち、「3C+1」を深化させ、THA の発展を期したいと思っております。

本日は 2020 年度に実施した事業と 2021 年度の見通しについて各担当理事より報告いたします。それでは最後まで宜しくお願い致します。

監事監査報告 (小池文彦氏)

ここで議長は審議に移る前に監事に監査報告を求めたところ、小池文彦監事は、「2020 年度における、理事の職務執行ならびに法人の決算に関しまして、法令および定款に違反する事実ならびに不正な行為はございません。」と述べた。

【報告事項】

事業報告

(マーケティング委員会)

正田実理事より以下の報告があった。

THA の活動に賛同いただきました、賛助会員の推移は 2019 年度 10 名、2 団体、2020 年度 31 名、3 団体と多くの方からご支援をいただきました。

会費の使途は、大変厳しい運営になる体験教室から少年団へのステップアップ費用として考えており、今後とも賛助会員の募集に力を注いでまいります。

Tokyo Hockey Family News 発行、品川区、大田区の企業訪問も計画中です。

(競技基盤委員会)

市川明理事より以下の報告があった。

チーム登録は 66 チームであり、5 チーム増え、1 チーム退会された。退会は大学女子で今後の大学ホッケー人口の減少が危惧されます。選手登録は昨年並み、少年団は新型コロナ感染症で大会が中止となり、チーム登録はしても選手登録をしておらず登録数の減少を招いた。競技役員は 153 名 (うち D 級審判=82) であり、2022 年からの大井ホッケー競技場での多数の大会で地元の貢献が求められるだろう。資格取得講習会はリモート形式の導入により実施をしていきたい。

(強化事業部会)

強化事業については右川理事より以下の報告があった。

2020 年度強化事業として、以下の 3 つを実施している。

1) 国体強化事業

例年事業期間は年末迄で、主たる活動期間は関東ブロック (8 月末) 迄であるが、

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で事業期間が2月末まで延長された。

① 成年男子

2020年度は徳島竜太監督の下に、選手はメトロ東京、東京ガス等の社会人や関東学生リーグ1部上位校を中心に各チームから選抜した。計8回の強化活動を行ない、チーム戦術等の共通認識を深め、次年度に繋がる活動を行う事ができた。

2021年度6月中旬まで選考を行い、7月以降選抜チームとして集中的に活動し関東ブロック大会(8月27~30日、栃木)で優勝を目指す。

② 成年女子

2020年度は酒井友真監督の下で、応募選手が少ないながら東京ヴェルディを中心に大学生の底上げにも注力し、2月末までに計10回の強化活動を行った。

2021年度元さくらジャパンの小林真由美を監督に迎え、東京ヴェルディ中心に各大学からの選手に加え代表選手やオリンピックも参加予定である。6月中旬まで選考を行い、8月の関東ブロック大会で優勝を目指す。

2) ジュニア特別強化事業

2020年度はコロナ禍で高校生のクリニックやワンデー大会など例年行っている活動がほとんど出来なかった。(唯一高校男子のクリニック1回のみ)

一方で小中学生対象の駒沢での強化活動は10回を数え、東京でのホッケーの裾野を広げる大きな成果であった。12月27日には大井オリンピック競技場でジュニア交流試合を行い、40人を超える小中学生が参加した。

3) 2020大井・高等学校ホッケー大会

インターハイが中止となり、その代替大会としてTHA主催で東京都の高校生のためにワンデー大会を9月6日に大井ホッケー場サウスピッチで実施した。

(普及推進事業部会)

普及推進事業について河原理事より以下の報告があった。

普及推進事業部会は

a. 品川区・大田区からのイベント委託運営の収益事業

b. 都助成金による「ホッケー教室」の運営・管理

の2つの事業を行実施した。

2020年は新型コロナウイルス感染症の影響で上半期のイベントは全て中止。品川区オリパラ準備課から「オンラインホッケー教室」開催の相談あり、メトロ東京の協力を得て、8、10月2回実施し、高評価を得た。これを見ていた品川区健康課から「ぜん息児向けオンラインホッケー教室」を開催して欲しいと1月に実施。品川区教育委員会から卒業する6・9年生向けに「思い出作りホッケー体験教室」を大井ホッケー場で開催してほしいとの依頼が11月あり、12月中旬から2月中旬まで18校行う予定でしたが、非常事態宣言再発令があり8校しか実施出来ませんでした。平日午後でご指導に協力して頂いた三田ホッケークラブの方々に御礼申し上げます。

大田区ではJR大森駅東口広場がリニューアルされ、4月に大々的なオープンセレモニーで、東京ヴェルディホッケーチームによるミニゲーム、体験教室が行われる予定でしたが中止となり、11月に小規模で体験コーナーのみ行いました。東大駒場Gで行ってきた「ジュニアホッケー教室」はグラウンド使用不可で1回も開催出来ませんでした。駒沢第一球技場でジュニア特別強化練習に併せて、初心者向けの「駒沢ホッ

ケー教室」を11月から開催、計5回実施。場所柄か外国人や親子参加もあり好評な立ち上がりとなりました。

2021年は、新型コロナウイルス感染症の影響でイベント開催がまだ難しい状況ですが、オリンピック開催の方向、ワクチン接種が進めば実施出来る方向になると期待しています。品川区では、オリンピック以降も「ホッケーの街」として活動していきたいと、小3・4年生対象の「品川カップ」、「保育園ホッケー教室」(10回/年)、「児童センターホッケー教室」(12回/年)、区民向け「ホッケー教室」(3回/年)を行う予定。

(大会運営事業部会)

大会運営事業については多氣洋平理事より下記の報告があった。

2020年度は当初7~8月に五輪の開催が予定されていましたが、ご存知の通り延期となりました。その後、急きよ8月より大井ホッケー競技場サウスがホッケー関係者にのみ使用が認められ、THAチームに積極的にご活用いただくため、様々な大会を企画しました。(2020.8~2021.1 約5ヶ月) 準備の不手際や直前での変更等々ご迷惑をおかけしましたが、おかげさまで、ほぼ全ての土日祝日、加えて一部平日も稼働し、施設所有者である東京都からも「嬉しい誤算」だったと感想をいただき、五輪後の使用に向けてホッケー界として良いアピールができた。

2020年度の主な大会事業 主催・主管

- ・大井2020 高等学校ホッケー大会 →インターハイの代替大会
- ・THAカップ (THA所属一般男子) ※新規 →社会人リーグの代替大会
- ・マスターズ/レディースリーグ (+プレシーズンマッチ)
- ・小中学生交流大会 ※新規
- ・東京サマーキャンプ/オータムチャレンジ/ウィンターキャンプ/スプリングマッチ
- ・東京ウィークデイマッチ (平日大井のナイター活用)
- ・全日本社会人ホッケー選手権プライマリラウンド2 (2次予選) 2日間
- ・ホッケー日本リーグ レギュラー/ファイナルステージ 5週末 11日程
→延べ311人 (1日平均:28人) のスタッフにお手伝い頂けた。
- ・駒沢公園スポーツの日イベント

2020年度の大会運営事業の収支は、591.2万円の収入に対し、支出が570.9万円。合計+20.3万円。事業別には、事業収入の約半分をHJL東京大会(254万円)が占め、次いでTHA杯(60万円)となっている。

現状、収支均衡でもすれば赤字事業に転落する「コストセンター」を、短期的には収支的に自立した事業にしたい。中長期的には、補助金の活用、パートナーの獲得によりTHA他事業に貢献できる「プロフィットセンター」に育成していく。

(法人収支について)

THAの法人としての会計について一川邦彦理事より説明があった。

新型コロナウイルス感染症の影響で夏までは殆ど活動が出来ず、規模感としては例年の1/2である。特にこれまで、THAの収益を支えてきた品川区・大田区を中心としたホッケー体験教室は、規模では1/3~1/4、収益としては1/5程度になった。

国体強化活動も国体関東ブロック大会の中止、高校生の部活動自粛等により、活動は1/2程度に留まり、交付額総額600万円の約1/2にあたる300万円を返還した。

新型コロナウイルス感染症対応として設けられた JSPO の「スポーツ事業継続補助金」を申請し、100 万円強の補助金を取得することが出来た。この用途としては主としてロッチ中岡さんを招き、大井ホッケー場で開催した都高校生大会の開催費用に充当した。また同じく JSPO から都体協を通じて「スポーツコーチ 1 研修会」の開催費を獲得し、ホッケーの普及発展に寄与するため指導者の育成を図った。THA が法人化された事によりこれら補助金の獲得が出来た。

コロナ禍ではあるが、大井ホッケー場の有効活用として、夏以降サブピッチが開放され、数多くの大会を企画し、多くのチームに大井ホッケー場を使用していただき、300 万円規模の事業となった。

一般管理費については、会議が WEB で開催される事が多く、会議費、理事交通費の出費が抑えられ、正会員年会費の範囲に納める事が出来た。

支出総額約 1,300 万円の内訳は謝金等いわゆる人件費的な要素、及び大井・駒沢の施設利用料が 1/3 ずつを占め、残り 20%が消耗品等の購入、15%が前述の一般管理費である。

(決算報告について)

「決算報告書」では HJL 大会運営が HJL からの仮受金に拠っており、HJL 運営費ガイドラインに沿って精算されるので、決算からは除外し、収支説明より 2,524 千円少ない数字で整理した。今期は収益事業に係る「損益計算書」が赤字となり、法人税(国税)の発生は無く、地方税として均等割額 7 万円を納付した。

(2021 年度予算について)

2021 年度もまだ新型コロナウイルス感染症の状況が不透明であり、「3C+1」の基本方針に則り、今見える範囲の事業を織り込んでいる。

【決議事項】

第 1 号議案 2020 年度決算の件

議長は審議に入る事を宣言し、第 1 号議案「2020 年度決算」の件を諮る旨を述べた。決算内容については事業報告の中でも詳しく触れられたことから、ここでは質問を受付けたいとして WEB 議場に呼びかけた。議長は質問の無い事を確認し、本件を議場に諮ったところ、出席正会員の過半数を超える賛成を得て本件は承認された。

第 2 号議案 理事選任の件

議長は第 2 号議案である「監事選任」の審議にあたり、定款第 20 条及びその 3 項、定款第 23 条に触れ、監事は 1 名以上 3 名以内とされており、現在は監事 1 名、本日の候補者数は 1 名であり、過半数を超えた賛成で選任されこと、ならびに当該監事の任期は 4 年であり、また本監事選任議案については現監事の同意を得ている事を述べた。

監事候補者 塩野谷 住雄氏の選任を議場に諮ったところ、出席正会員の過半数を超える賛成を得て本件は承認された。

議長はこれにて総会の審議事項はすべて終了した事を宣言し、また、閉会を宣言し、午前 11 時 30 分閉会した。


上記決議を確証するため、本議事録が作成され、議長及び議事録署名人が署名捺印した。

2020年6月20日

一般社団法人東京都ホッケー協会

議長

菅野 芳哉

菅野 芳哉 

議事録署名人

中島康仁

中島 康仁 

議事録署名人

小川仁志

小川 仁志 